

[総 評]

令和3年度杉並区NPO活動資金助成審査

新型コロナウイルス感染症の影響により、区内NPO法人の活動も大きな制約を受け、今年度のNPO活動資金助成には、昨年度と同規模となる9団体（スタートアップ事業3団体、ステップアップ事業6団体）の申請がありました。この9団体の申請総額約378万円に対しまして、今年度予算における助成総額（上限額）は、昨年のNPO支援基金への寄附実績等から昨年度比100万円の減となる150万円であったため、大変に厳しい助成審査となりました。

助成審査は、従来どおり、書類審査による第一次審査、プレゼンテーション・ヒアリングによる第二次審査という二段階方式で行いました。

第一次審査は、申請された事業計画書及び予算書において、疑義のある点を確認しつつ、事業のニーズや効果、実行可能性等を審査し、8団体（スタートアップ事業3団体、ステップアップ事業5団体）を第一次審査通過団体に決定しています。

第二次審査では、これら8団体の各団体からのプレゼンテーションを受けた後、委員との質疑応答を行ったうえで、事前に各団体に追加提出していただいた事業計画書の事業毎の予算額内訳等の資料を基に委員による意見交換を実施し、総合的な観点から助成団体及び助成額を決定しました。その結果、3団体のスタートアップ事業については、自立した活動を支援する必要性から、申請総額のほぼ満額を助成することとしました。また、ステップアップ事業については、4団体について、従前の事業からどのように改善・発展しているか等の観点から、一部の事業に係る申請額を減額して助成することとしています。これは、NPO支援基金を活用して、可能な限り多くの団体を支援していくことが望ましいとの考えに立って、協議・調整した結果であります。

助成団体の皆様には、コロナ禍の終息が見通せない中ですが、感染防止対策に留意しながら、充実した助成事業の実施と団体活動の継続・発展を図るよう期待しています。

また、区においても、これらの団体の皆様と協働しつつ、NPO支援基金への寄附を獲得する努力を積み重ね、本助成制度による支援の充実につなげていくよう求めて、総評といたします。